



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30
- ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 文夫
- ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹 事 / 依田 晋一
- ◆広報・情報委員長 / 清水 泰男

NO. 1259 平成27年1月6日



◆点鐘	渡辺 文夫 会長
◆SAA	清水 泰男 委員
◆ソング	君が代 誕生日の歌

◆誕生祝

若林 正忠会員

◆結婚祝

中込 裕幸会員・幸子夫人

【会長挨拶】 渡辺 文夫 会長

会員の皆様、あけましておめでとうございます。会員の皆様には、気持ちを新たに、期待に満ちた新春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、立春過ぎの県内を記録的な大雪が襲い、夏の南木曾町で発生した土石流災害、更に秋の御嶽山噴火と続き、初冬の「神城断層地震」での甚大な被害等で大変な一年でした。今年は災害被害のない年になるように願っています。

お正月ですので、羽子板の歴史についてお話を致します。「羽子板」はいつの時代からあったのか、詳しいことは解りませんが、室町時代の書物に初めて記録があります。永享四年(1433年)正月、御所において宮様、公郷、女官達が、紅白にわかれて羽根突きに興じられたそうです。宮中では、お正月に必ず羽根突きをして、その年の健康をお祝いしました。現在でも、女の子が誕生した初めてのお正月には、羽子板をおくる風習が、全国各地に残っています。

「押絵」とは、後世の押絵細工ではなく、表具の張絵の技法で、宮中の公卿、女官達の趣味として、衣類の残り布を材料とし、屏風、香箱等に装飾として使われ、当時の上流社会において流行し、江戸時代には庶民の間に普及しました。この「押絵」と「羽子板」が別々の歩みの中で融合したのは、江戸中期文化文政の頃(1800年)江戸では、太平の世の中、庶民の娯楽の第一が「歌舞伎」でした。そこで名優、人気役者の舞台姿を「押絵」の技法で作り、おめでたいとされた「羽子板」に入れて販売したところ、江戸庶民に人気を得てその後、明治・大正・昭和・平成の現代に至るとのことです。

以上、会長挨拶です。ありがとうございました。

【幹事報告】 依田 晋一 幹事

1. 国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について
1月より1ドル=118円(現行112円)に変更
 2. ロータリーの友事務所より「ロータリーの友」電子版配信案内
電子版閲覧方法
ロータリーの友ホームページ
www.rotary-no-tomo.jp にアクセス
電子版をクリック ID rotary パスワード rotary
 3. 年賀状
小諸青年会議所、(株)万年堂、(株)オクトン
 4. 例会変更
上田六文銭RC 1月13日(火) 定刻受付あり
(上田東急イン)
2月17日(火) 定刻受付なし
2月24日(火) 定刻受付あり
(上田東急イン)
 5. 週報
千曲川、佐久、丸子、上田西RC
・当クラブ1月13日(火) 新年夜間例会 18時より
日本料理 音羽
- 【本日の配布物】
週報 1259号、ガバナー一月信 7号

◆ラッキー賞

NO. 8 両川 栄 君

◆ニコBOX 両川 栄 委員

黒澤 明男君	大学駅伝、母校が総合優勝致しました。
小林 秋生君	新年明けましておめでとうございます。本年も情熱でロータリーに出席したいと思います。若林会員、元気で例会復帰のため、励んでおられました。
湯本 敏晴君	新年おめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
橋詰 希望君	青山学院箱根駅伝、初の優勝おめでとう。

渡辺 文夫君	明けましておめでとうございます。
青松 英和君	本年も、宜しくお願いします。

前田 博志君	明けましておめでとう。
両川 栄君	ラッキー賞、ありがとうございます。

◆【出席報告】 掛川 興太郎 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 1月6日	24	21	事前0名	3	86.96%
前々回 12月9日	24	21	事後0名	3	85.00%

【本日のプログラム】 「新年抱負・年男決意表明」

「新年度を迎えて（新年の抱負）」 渡辺 文夫 会長



次年度の役員理事の選任について、去年12月の第一例会日の年次総会において、出席会員満場一致で承認され、スムーズに決定致し本当にありがとうございます。私の任期もあと六か月残って居りますので、気を引き締めて一つ一つ消化していきたいと思って居りますので、引き続きご支援ご協力の程よろしくお願い致します。今年も、益々良い年になりますようお願いしております。

「新年の抱負」 渡辺 頼雄 副会長



新年おめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。12月にご報告申し上げました奉仕プログラム実施計画の申請は、3月13日迄となっております。当クラブの奉仕活動計画推進が求められております。皆様とご相談させて頂き数年次にわたる活動計画をご承認頂き、進めてまいりたいと思っております。お知恵とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

「新年の抱負」 依田 晋一 幹事



およその事は年末の報告で申し上げましたが、簡単に申し上げれば幹事の仕事を全うするべく努力をいたしますと云う事です。委員会活動に非力ながら協力申し上げます。残りの半年意義ある年度になりますよう会長に協力して行きたいと思っております。

「年男決意表明」 湯本 敏晴 会員



新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。今年は未年です。未は十二支で八番目のえとにあたります。方位では南西南を表し、時刻は太陽が中天をやや過ぎた、午後一時から午後三時を指します。また性は土とされ、土は芽生えと育成をつかさどる万物の母とされています。従って今年は生氣あふれる希望の年となるでしょう。

ひつじは従順で、人の為に役立ち、なくてはならない動物、自らの羊毛は人の身体を優しく包み、温め、時には格調高い洋服となり、人への貢献。微力ながら私もその様な心を持ち続け、人に優しい人になりたいと願っております。

さて、高速交通網の進展により、大きく中心市街地よりの大型店の撤退が続く中、今後の町づくりの対応について本町区町づくり推進協議会を設立し、町づくりについて検討を重ねて参りました。本町では、小諸市の都市計画による16m道路計画を中止し、江戸・明治時代の建物が多数残っている現状を生かした町の活性化に取り組みました。

本町区町づくり推進協議会は1. 良好な居住環境の形成 2. 商業活動の活性化による経済基盤の確立 3. 文化的・歴史的町並みの保存と活用を図る事を目的とする為に今迄事業を行って来ました。

最近では、区内アンケートを実施し、コンパクトシティー化に対応した町づくりを検討してまいります。さらなる高齢化に対応した、誰でも安心安全な町づくりを進めて行くつもりです。

次週のプログラム: 1月13日 新年夜間例会

次々週のプログラム: 1月20日「本の出版・私の経験」 佐々木治夫氏